

第10回環境コミュニケーション大賞（環境報告書部門）

採点基準（平成18年版）

基本的に採点を考え、3・2・1・0を付すこととする。ただし、小数点以下、一桁も可とする。
レベル判定については下記の例示的レベルだけでなく、環境省作成環境報告書ガイドラインの記載項目をベースにし、環境パフォーマンス指標も参考にして判定する。

1) 基礎的項目 MAX: 19点

- 経営者コミットメント..... (6点)
- 「3」 持続可能な社会形成と環境保全についての確実なコミットメントと、経営資源配分等の約束が入っている、等
 - 「2」 過去の実績のを中心に述べており、将来へのコミットはそれほどでもない、等
 - 「1」 地球環境問題等一般論を述べておりコミットメントが明確でない、等
 - 「0」 コミットメントなし
- サステナビリティの認識..... (5点)
- 「3」 サステナビリティについて深い認識が表明されている、等
 - 「2」 企業の持続可能性の認識はしめしているが、社会の持続可能性認識にまでは広がっていない、等
 - 「1」 環境を狭く解し、公害防止の発想にとどまっている、等
 - 「0」 記載なし
- 報告対象組織バウンダリー..... (5点)
- 「3」 報告対象範囲は連結対象など支配権の及ぶ範囲を網羅している、等
 - 「2」 単体企業を中心に部分的に連結対象にも及んでいる、等
 - 「1」 単体企業に限定されている、等
 - 「0」 単体企業の部分的範囲にとどまっている
- 会社概要..... (2点)
- 「3」 その企業を知らない人が見て、企業概要が明確にわかる詳しい内容となっている、等
 - 「2」 企業概要のほか、主要財務データや製品別売り上げ比率等もある程度記載されている、等
 - 「1」 資本金と簡単な事業内容のみの記載、等
 - 「0」 記載なし
- 報告対象期間・発行年月..... (1点)
- 「3」 明確に記述され、はみ出る部分などについての説明もある、等
 - 「2」 一応の記載、平均的な記載、等
 - 「1」 記載あるも欠落あり、等
 - 「0」 記載なし

2) 環境マネジメントシステムに関わる内容 MAX: 6点

- 方針・目的..... (1点)
- 「3」 企業の特性を反映、コミットメントとの整合性、等
 - 「2」 網羅的な記載、平均的な記載、等
 - 「1」 部分的に記載、記載あるも欠落あり、等
 - 「0」 記載なし
- 組織・体制..... (1点)
- 「3」 EMSの状況、意思決定プロセスが理解できる、企業の特性を反映、等
 - 「2」 一応の記載、平均的な記載、等
 - 「1」 部分的に記載、記載あるも欠落あり、等々の意味
 - 「0」 記載なし
- 監査..... (1点)
- 「3」 内部監査・外部監査の基準・内容・結果の記載が豊富、等
 - 「2」 一応の監査体制・手順等記載、等
 - 「1」 記載あるも欠落あり、等
 - 「0」 記載なし

継続的改善..... (1点)

「3」 継続的改善の仕組がわかる及び具体的措置および改善方針等の記載、等

「2」 結果の報告はあるが、仕組等は必ずしも明確ではない、等

「1」 考え方のみを述べている、等

「0」 記載なし

緊急時対応..... (1点)

「3」 企業特性を表した対応策、訓練実績等の併記、等

「2」 一応の記載、平均的な記載、等々

「1」 部分的に記載、等

「0」 記載なし

教育..... (1点)

「3」 教育方針・体制・実績等について豊富な記述、等

「2」 一応の記載、平均的な記載、等々

「1」 教育方針・体制・実績等について欠落が多い、等

「0」 記載なし

3) 環境パフォーマンスに関わる内容 MAX: 38点

3-1. 持続可能な発展についての取組 MAX 6点

「3」 貧困削減、生産・消費形態の変更、天然資源の基盤の保護・管理(生物多様性・生態系の保全など)というWSSDのSDの目的とリンクした方針、目的、目標、となっている。

「2」 地球温暖化だけでなく生物多様性についても多くの取組がある。

「1」 CO2にのみ特化している、等

「0」 記載なし

3-2. 全般 MAX: 8点

全体像の把握 (ライフサイクル的把握)..... (4点)

「3」 川上への配慮、総投入量・産出量の把握もふくめ、購入、製造・販売、物流・サービス、川下への配慮として販売後対応、最終処分等、活動・製品・サービスが影響を与える環境負荷の全体像を示し、明確な方針と対応を示している、等

「2」 自社の活動についてのみ対応している(川上・川下への配慮にまでは及んでいない)、等

「1」 自社の活動の1部分についてのみ記載、等

「0」 記載なし

方針・目標・計画等の総括、整合性..... (2点)

「3」 全体としてコミットメント、方針・目的を総括し整合性をとっている。

「2」 良く読めば全体的な整合性はあるが、わかりづらい、等

「1」 部分的な整合性、等

「0」 整合性なし

上記に加え循環型社会形成への努力..... (2点)

「3」 EPRの考え方も取り入れ、リユース、リサイクルなど生産・流通・消費を通じて自社活動を循環型社会形成の促進に寄与し、かつ適合させる、明確な方針と対応を示している、等

「2」 部分的な活動はうかがえるが全体方針等はない、等

「1」 考え方を示すにとどまっている、等

「0」 記載なし

3-3. 個別指標1 Operation (操業)

3-3-1 製造業 MAX: 12点

総エネルギー投入量及びその低減対策..... (4点)

「3」 目標・実績・計画とも指数だけでなく絶対値も示し、目標を達成するための方策、計画内容の達成状況と分析等が示されている、また、中長期の目標計画も示されている、等

「2」 目標は実績と対応し、数量的に、かつ計画も示されている、等

「1」 実績、目標・計画とも何がしか記載されているが欠落が多い、等

「0」 記載なし

温室効果ガス等の大気への排出量及びその低減対策……………（４点）

「３」 目標・実績・計画とも指数だけでなく絶対値も示し、目標を達成するための方策、計画内容の達成状況と分析等が示されている、また、中長期の目標計画も示されている、等

「２」 目標は実績と対応し、数量的に、かつ計画も示されている、等

「１」 実績、目標・計画とも何がしか記載されているが欠落が多い、等

「０」 記載なし

業種毎に下記項目について重点項目を別途、勘案し総合評価する。……………（４点）

- 1) 総物質投入量及びその低減対策
- 2) 水資源投入量及びその低減対策
- 3) 化学物質排出量・移動量及びその低減対策
- 4) 総製品生産量又は販売量
- 5) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策
- 6) 総排水量及びその低減対策
- 7) 輸送にかかわる環境負荷の状況及びその低減対策
- 8) オゾン層保護
- 9) その他公害管理（悪臭・振動・騒音等）
- 10) 包装材
- 11) 業種特性独自項目

例、資源・エネルギー業界 開発時の生態系への影響評価・自然エネルギー開発・サイトアセスメント等

「３」 重点項目を中心に上記項目について満遍なく取り上げられ、数値情報、経年比較も可能、等

「２」 概ね、記載されているが一部欠けていたり、数値情報が少ない、等

「１」 限られた項目の定性的記述にとどまっている、等

「０」 記載なし

3-3-2 非製造業

MAX: 10点

総エネルギー投入量及びその低減対策……………（４点）

「３」 目標・実績・計画とも指数だけでなく絶対値も示し、目標を達成するための方策、計画内容の達成状況と分析等が示されている、また、中長期の目標計画も示されている、等

「２」 目標は実績と対応し、数量的に、かつ計画も示されている、等

「１」 実績、目標・計画とも何がしか記載されているが欠落が多い、等

「０」 記載なし

温室効果ガス等の大気への排出量及びその低減対策……………（４点）

「３」 目標・実績・計画とも指数だけでなく絶対値も示し、目標を達成するための方策、計画内容の達成状況と分析等が示されている、また、中長期の目標計画も示されている、等

「２」 目標は実績と対応し、数量的に、かつ計画も示されている、等

「１」 実績、目標・計画とも何がしか記載されているが欠落が多い、等

「０」 記載なし

業種毎に下記項目について重点項目を別途、勘案し総合評価する。……………（２点）

- 1) 総エネルギー投入量及びその低減対策
- 2) 総物質投入量及びその低減対策
- 3) 水資源投入量及びその低減対策
- 4) 化学物質排出量・移動量及びその低減対策
- 5) 総製品生産量又は販売量
- 6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策
- 7) 総排水量及びその低減対策
- 8) 輸送にかかわる環境負荷の状況及びその低減対策
- 9) 業種特性独自項目 例、包装材

「３」 重点項目を中心に上記項目について満遍なく取り上げられ、数値情報、経年比較も可能、等

「２」 概ね、記載されているが一部欠けていたり、数値情報が少ない、等

「１」 限られた項目の定性的記述にとどまっている、等

「０」 記載なし

3-4. 個別指標2 設計・上下流

3-4-1 製造業MAX: 12点 (合計点が12点以上の場合は、一律12点とする)

業種毎に項目配点を別途決定する。

製品設計での環境配慮..... (5点)

「3」 全製品・サービスに対して環境配慮開発設計について、実績・方針等を具体的に示している、等

「2」 事業規模に比べ少なく、一部分についてのみの記載、等

「1」 今後の方向性のみを定性的に記述、等

「0」 記載なし

製品・容器等のリサイクル、回収、資源再利用の取り組み等..... (4点)

「3」 全製品・サービスに対して実績・方針等を具体的に示している、等

「2」 事業規模に比べ少なく、一部分についてのみの記載、等

「1」 今後の方向性のみを定性的に記述、等

「0」 記載なし

サプライ・チェーンに対する環境配慮..... (3点)

「3」 全調達先だけでなくその先のサプライヤーまで含めた方針等を具体的に示し、実績についても記述している、等

「2」 事業規模に比べ少なく、一部分についてのみの記載、等

「1」 今後の方向性のみを定性的に記述、等

「0」 記載なし

グリーン調達..... (3点)

「3」 全調達額に対する割合、実績・方針等を具体的に示している、等

「2」 事業規模に比べ少なく、一部分についてのみの記載、等

「1」 今後の方向性のみを定性的に記述、等

「0」 記載なし

3-4-2 非製造業 MAX: 14点 (合計点が14点以上の場合は、一律14点とする)

業種毎に項目配点を別途決定する。

製品サービスでの環境配慮..... (4点)

「3」 取扱全製品・サービスに対して実績・方針等を具体的に示している、等

「2」 事業規模に比べほんの端の一部分についての記載、等

「1」 今後の方向性のみを定性的に記述、等

「0」 記載なし

サプライ・チェーンに対する環境配慮..... (4点)

「3」 全調達先に対する関与割合、実績・方針等を具体的に示している、等

「2」 事業規模に比べほんの端の一部分についての記載、等

「1」 今後の方向性のみを定性的に記述、等

「0」 記載なし

販売・サービス提供後の回収・リサイクル..... (4点)

「3」 取扱全製品・サービスに対して実績・方針等を具体的に示している、等

「2」 事業規模に比べほんの端の一部分についての記載、等

「1」 今後の方向性のみを定性的に記述、等

「0」 記載なし

グリーン調達..... (3点)

「3」 全調達額に対する割合、実績・方針等を具体的に示している、等

「2」 事業規模に比べほんの端の一部分についての記載、等

「1」 今後の方向性のみを定性的に記述、等

「0」 記載なし

4) その他の事項

MAX: 9点

環境会計・環境効率..... (4点)

「3」 貨幣・物量情報などの環境会計を活用し、環境効率指標の開発につとめ環境経営進展度の説明などに取り組んでいる、等

「2」 貨幣情報のみならず、物量情報とのリンクも考慮している、ベネフィットの計算根拠を示している、等

「1」 一応の記載はあるが内容的に乏しい、等

「0」 特段の記載なし

環境に関しマイナスとなりうる情報(苦情・事故・訴訟等)..... (3点)

「3」 環境に関する訴訟(受)や、土壌汚染、苦情、事故などのマイナス情報が具体的に記載され、対応方針も示されている、具体的事案がない場合は「ない」ことが明記されている、等

「2」 一応の記載はあるが、必ずしも具体的なもののばかりではない、等

「1」 部分的に記載あり、等

「0」 記載なし

支店、サイト等に関する情報..... (2点)

「3」 全サイトに関する情報(PRTRも含む)を豊富に記載、もしくはアクセスが明確、等

「2」 全サイトに関する記載、もしくはアクセスがあるが内容的に乏しい、等

「1」 部分的にのみ記載あり、等

「0」 記載なし

5) コミュニケーション

MAX: 10点

コミュニケーションの工夫..... (2点)

「3」 コミュニケーション方針やフィードバックの工夫はもとより、過去のフィードバック情報および対応等についても記述、等

「2」 葉書、ファクシミリ用紙等一応の工夫はなされている、等

「1」 部分的に記載あり、等

「0」 記載なし

信頼性担保の工夫..... (2点)

「3」 第三者の保証・検証を受ける、NGO等の製作参加、など積極的に信頼性担保の増強に努めている、等

「2」 客観的なガイドラインに準ずるとか、諮問委員会等を設けている、有識者より専門的なコメントを受ける、等

「1」 信頼性担保のための何らかの記述あり、等

「0」 特段の記載なし

理解しやすさの工夫..... (2点)

「3」 理解容易性、用語解説、報告書レイアウト・概観等随所に工夫をこらしている、等

「2」 一応の努力がみられるが平均的、等

「1」 部分的に工夫の跡はみられるが極めて不十分、等

「0」 工夫が全く感じられない

比較容易性の工夫..... (2点)

「3」 客観的なガイドラインに準ずるとか、他社と共通の測定基準につとめる、など積極的に比較容易性の増強に努めている、等

「2」 経年比較については明確に表現されている、等

「1」 比較容易性のための何らかの記述あり、等

「0」 特段の記載なし

検証可能性の工夫..... (2点)

「3」 算定方法や集計範囲などが明確にされ、少なくとも内部検証を経ているなどの記述、等

「2」 諮問委員会等を設けている、等

「1」 検証可能性のための何らかの記述あり、等

「0」 特段の記載なし

6) パートナースhip形成・社会貢献その他の取組

MAX : 8 点

パートナーシップ形成への取組..... (5 点)

「 3 」 地域のみならず、従業員を含むすべてのステークホルダーとのパートナーシップ形成の方針が示され、ステークホルダー・ダイアログ等が積極的に実施されているなどの記載、等

「 2 」 明確な方針はないが、多くの実績が記載されている、等

「 1 」 地域との交流等、わずかな取組の記載あり、等

「 0 」 記載なし

社会貢献への取組（環境も含む）..... (3 点)

「 3 」 社会貢献についての積極的な方針と実績が記述されている、等

「 2 」 方針、コミットメントはないが多くの実績が記載されている、等

「 1 」 宣伝的な記載あり、等

「 0 」 記載なし

7) 総合評価

MAX : 10 点

上記全体を総合勘案し、かつ独自の創意工夫や先導的な試み等も考慮し、総合評価する。 以上